

長野高専後援会 長野支部だより

令和6年10月10日

発行責任者

支部長 関野 愛

編集 編集委員会

長野支部総会開催される



7月7日(日)午後2時からホテル信濃路において、令和6年度長野高専後援会長野支部総会が69名の会員の出席により開催されました。

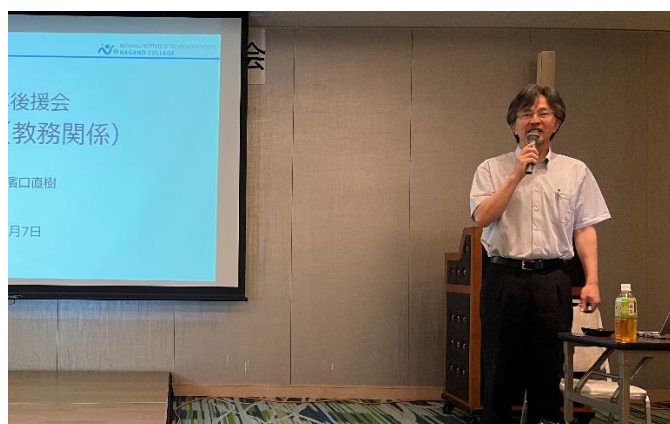
総会では初めに、関野愛支部長・伊藤誓敏副支部長の就任が承認され、山田恵美理庶務補を議長に選出し、令和5年度事業報告及び会計報告、令和6年度事業計画及び予算案が満場一致で可決されました。

続いて御来賓の濱口直樹副校長・渡辺誠一副校長から学校情報に関して資料をスクリーン投影しながら御説明いただきました。

さらに特別講演として、長野高専卒業生の浅田吉博氏による在学時代の過ごし方や学んだことについてのお話を楽しくお聴きしました。

総会終了後は懇親会が開催され、御来賓の2名様を含む51名が参加し、和やかな時間を愉oshimしました。

学校報告(教務関係)



副校長(教務主事)
濱口 直樹 先生

みなさんこんにちは長野高専教務主事の濱口と申します。皆様には日頃より長野高専の教育におきまして様々なご支援をいただき、この場を借りて厚く御礼申し上げます。学校の様子につきまして私の方は教務関係の報告をさせていただきます。

- 入学式・始業式 4/8
- 実力テスト 4/9
 - 2・3年生 数学・英語(TOEIC Bridge)
 - 4年生 TOEIC IP
- 1・3年生特別研修 4/18
 - 学内・学外(長野市周辺)で研修

- 前期授業公開期間
4/26～5/2(4/27(土)を含む 5 日間)
参観者 383 名(前年度 175 名から 208 名増)
- クラスマッチ
バレーボール・卓球・硬式テニス・T ボール・しっぽとり
バドミントン・ドッジボール・シャッフルボード
- 前期中間達成度試験 6/11～13
- 夏のオープンキャンパス(体験入学) 7/6
- 校内学習塾(7 月より開始)
放課後に上級生の TA が下級生の学習指導を担当
TA1 名が 2 名を担当し、約 45 講座を開設予定
- 前期期末達成度試験 8/5～8
- 夏季休業
前後の 3 連休を含めて 8/10～9/23
- 実務訓練(4年生・夏季休業期間)
- 企業説明会およびマナー講習会を 5～6 月に実施
- 工嶺祭
一般公開日(10/19, 20)を中心に保護者懇談会も実施
- 後期授業公開期間 10/29(火)～ 11/1(金) および 4(月・振休)
- 秋のキャンパスツアー(学校説明と授業見学)
中学生とその保護者を対象に実施予定
- 海外研修旅行(2年生 11/5～8)
台湾での研修
- 企業現場見学 長野県内外の企業を見学
3年生 11/7, 8(日帰り 2 日間)
4年生 11/6～8(2 泊 3 日)
- 1年生と5年生の交流会(11 月の他学年研修旅行等の期間内)
卒業研究の様子や専門分野の内容を聞く
- 後期中間達成度試験 12/2～4
- 学年末達成度試験 2/12～17
- 終業式・学生総会 2/21
- 卒業証書・修了証書授与式 3/18
ホクト文化ホール

TOEIC につきまして、後援会よりご支援いただき実施しました。有難う御座います。

学科再編成について

令和 4 年度入学生から、5 学科が 1 学科になり 1 年生はみな同じ基本的な内容を学びます。3 つの系の各分野について理解を深めたうえで、将来を見据え進路を選択していきます。系への配属は希望調査及び面談等で決め 2 学年で系に配属されますが、実験実習設備数等の関係もあり概ね情報エレクトロニクス(IE)系約

80 名、機械ロボティクス(MR)系約 80 名、都市デザイン(CE)系約 40 名の配属となります。令和 5 年度の入学生は、IE 系 80 名、MR 系 85 名、CE 系 39 名となり 2 名のみ第二希望の系へ配属となりましたが概ね希望通りの系に進んでいる状況となっております。

4 年次のエンジニアリングデザイン実践について

エンジニアリングデザイン実践は学内外からテーマを募集し学生がチームで取り組んでいく学習内容であり、現在準備を進めているところですが、昨年度よりその入門編を 2 年生の科目として開始しております。テーマに沿った情報収集、協力、課題発見・解決、まとめ方についてチーム共同での作業プロセスを体験します。この経験が 4 年生での実践編へとつながり、工学科の特色が出る教育内容となっています。

報告は以上となります。

学校の様子と本科生の進路状況について



副校長(学生主事・進路支援担当)
渡辺 誠一 先生

学生主事をしております、渡辺です。日頃から多大なるご支援いただきましてありがとうございます。私の方から学生の生活の状況、進路の状況についてお話しさせていただきます。

最近の話題について

先月、寮の食堂で提供した食事を原因とする食中毒が発生しました。1 週間ほど寮での食事はお弁当での提供となりましたが、現在は通常通りの運営に戻っています。ご心配をおかけしてしまい申し訳ございませんでした。

昨日、夏のオープンキャンパス(体験入学)を実施し、無事終了しました。当日は 340 名の中学生が参加してくれました。保護者の方の参加を含めると、実際には 700 名近くの来場者となったのではないかと思います。

大変賑やかな体験入学となりました。午後は雨が降ってきてしまい、移動が大変でしたが、無事終了することができました。私が所属する情報エレクトロニクス系では、学生が説明者となり、中学生に電気自動車のエネルギーの流れをコンピューターでデータ収集し、表示する等の体験をしてもらいました。

最近、交通事故や SNS に関するトラブルが多くなってきていることもあり、6 月に 3～5 年生を対象に交通安全・SNS 講習会を実施しました。SNS 講習会については、人格を否定する内容の書き込みを見つけた場合や、特定の仲間の悪口を見つけた場合における対処方法について考える演習を実施しました。1・2 年生に対しては 4 月のガイダンス時に同様の講習会を実施しています。

今年度のイベントについて

4 月の新入生のガイダンスでは、担任の教員が自己紹介をし、その学年の数学や英語などの教科担当を紹介しています。できるだけその学年の先生が授業を担当するようになっていきますので、学生は早く先生方の顔を覚えることができます。

5 月にはクラスマッチを行いました。今年はクラスごとに応援旗を製作してもらいました。白い布だけを渡し、あとは自由に旗を製作してもらったところ、低学年は高専ではあまり使わない水彩セットを使って、思い思いに旗を製作し、応援していました。ただ、残念ながら旗を用意したのですが、棒を用意するのを忘れてしまい、急遽あちこちから調達するというハプニングもありました。秋にも文化祭、体育祭と同様のクラスマッチを行うので、今回はコンタクトプレーのある競技を減らし、低学年でも活躍できるようなお楽しみ競技を取り入れました。カーリングのようなシャッフルボードという競技が人気でした。最後の教職員チーム対生徒チームの対戦では、教職員チームが優勝してしまいました。

困りごとについて

最近、学校の周辺で事故や苦情が多発しており、頭を悩ませています。学校近くのコンビニエンスストア付近の歩道では、自転車が歩道を走行し、苦情が寄せられています。車道の右側通行や歩道の走行は危険ですので、注意してください。特に、本校体育館西側の丁字路は見通しが悪く、通学中の自転車が自動車と衝突する危険性があり、昨年度は事故が発生しました。また、北部幹線道路でも、横断歩道のない場所での事故が心配されていますので、気をつけてもらいたいです。

高専の東側にある駒沢池では、釣りをしている学生をよく見かけます。フェンスを乗り越えて釣りをしたり、夜に騒いだりする学生もあり、近隣住民の方から苦情が寄せられています。最近では、自転車のかごに釣り竿を入れている学生も見かけるようになりましたので、ご迷惑おかけしないよう注意喚起を行っていきます(現在は、池の北側に立入禁止の掲示がされています)。

また、三才駅付近では、遮断機が下りている時間帯に、車の隙間を縫って横断する学生や、自転車で横断する学生がおり、大変危険な状況です。中央警察署にお願いして、信号の時間を延長してもらい、歩行者や自転車が安全に横断できるよう対策をしてもらいました。

駐輪場は、特に火曜日の朝は満杯状態で、区画外に自転車を置く学生も出てきています。寮生が減り、下宿生が増えたこと、北信地域から通学する学生が増えたことが原因だと考えられます。学生には、駐輪場内にきちんと自転車を停めるよう指導しています。

三才駅と北長野駅には、長野市が管理する駐輪場があります。2 週間以上放置された自転車は、放置自転車として長野市に移動されてしまいます。昨年は、最終的に学校の軽トラックで長野市の保管場所まで放置自転車を取りに行き、学校まで運ぶという事態になりました。長期休業中は特に注意してください。

親切な学生について

先日、雪が降った日に、私が借りている駐車場で、女性の方が運転する車がスタックしてしまい、立ち往生している場面に遭遇しました。私も押すのを手伝いましたが、車を動かすことができず困っていたところ、買い物帰りの寮生 4 人が手伝ってくれ、車をもちあげて脱出することができました。学生たちの行動に感謝するとともに、地域の方に愛される学生に育ってほしいと改めて思いました。

課外活動について

県高校総体北信大会や高専大会がはじまっていますが、陸上競技部、軟式庭球部、硬式テニス部、バドミントン部、空手部などの学生が県大会に進んでいます。高専大会では、バドミントン部が女子団体優勝、バスケットボール部では男女ともに団体優勝しました。

高専生が参加できる多くのコンテストがありますが、すべてのコンテストに対応する部活動があるわけではありません。例えば、高専英語プレゼンテーションコンテストや、高専 DCON(ディープラーニングコンテスト)、高専 GCON(GIRLS SDGs×Technology Contest)

などには、対応する部活動がありません。学生がそういったコンテストに出たいと言ってきた場合には、学生主事に連絡するように促してください。相談に乗ってくれる先生方を紹介します。

奨学金について

奨学金に関する情報は、学校のホームページに掲載しています。[こちらのページ](#)からアクセスしてください。

進路状況について

進路状況ですが、昨年度は、2月の支部会と4月に発行した[学園だより](#)でおおよその情報をお伝えしました。最終的には、一部の進学希望の学生が進路を決められず浪人することになりましたが、就職希望者は全員就職先が決まりました。

就職先は、長野県内が34名、関東が48名で、関東の就職者のほとんどは東京でした。東海地方は9名で、その半数が中部電力関連企業に就職しました。県内就職者が多いのは、佐久市、上田市、東御市、御代田町など東信地域です。長野県の職員採用試験には、昨年度は6名、今年度は7名が合格しました。専攻科生を含めると今年度は8名になります。

今年度の5年生は、就職希望が約40%、進学希望が約60%です。6月末現在で、就職希望者の83%が就職先を決定しています。進学希望者は半分以上が進学先を決定しています。7月末には、就職希望者の9割以上が就職先を決定する見込みです。

大学への編入学は、推薦選抜だけで33名が合格し、合格率は82.5%と、大変高い結果となりました。信州大学工学部には過去最高の10名が合格しました。今年度から新設された女子枠(最大10名)には、本校から4名が合格しています。そのほか、豊橋技術科学大学には11名、長岡技術科学大学には4名が合格しました。この2つの大学については、本校から出願した学生全員が合格しています。東京農工大学など、他の大学にも合格者が出ています。一般選抜の結果がわかりつつありますが、合格率は大体6割程度で、推薦選抜よりも合格率は低くなっています。

現時点で、就職活動中の学生が14名、進学活動中の学生が50名という状況です。進学については、まさに今が最盛期ですので、頑張ってもらいたいと思っています。専攻科生も就職活動が順調に進んでいます。大学院を受験する学生もいますが、先週から大学院の試験が始まったので、これから合格者が増えてくると思います。

今後の取り組みについて

保護者の方や学生の方から意見を聞き、それに沿って運営していきたいと考えています。学生には、講習会の内容などを考えてもらう機会を増やしていきたいと考えています。また、進路状況や学校状況については、保護者会や懇談会に参加できない方のために、情報発信の方法を検討していきたいと考えています。学園だよりは、以前は年4回発行していましたが、現在は年3回になってしまいました。何か良い方法がないか検討中です。

先生方への質疑応答

系の配属について

Q 入学時から希望する系を変える学生が多い。2年生の系の配属について何か工夫している事はあるか伺いたい。

A 進みたい分野を間違えないようにしてもらう事をまず伝えている。希望進路の人数の情報が入ると友達と相談したりしている。情報を伝え、進みたい分野へ進めるようにしている。

Q 自分の希望と成績と希望している人数もフィードバックしているので、自分で変更しているか伺いたい。

A そうなる人は多いわけではない。成績順位が下の方にあった場合には「頑張らないとな」と思うようである。

学校の外部評価と保護者からの意見の回答について

Q 高等学校では学校評価アンケートが保護者・生徒へ向けて毎年行われている。高専でも取り入れて頂きたい。都合をつけて公開授業へ行き、疑問を持ちアンケートへ記入したが、まだ回答が得られていない。今現状、どのように考えているか教えていただきたい。保護者生徒から意見を吸い上げてフィードバックし、良い学校作りを今後期待していきたい。

A 学校の授業の評価アンケートは学生に年2回実施している。機関別認証評価等も行われ、定期的に外部評価を受ける取り組みをしている。頂いたご意見については会議にて教員内で共有をし、改善に向けて検討・取り組みをしているところである。

成績表について

Q 4年生の保護者です。成績表の見方について教えて頂きたい。4年生になると選択科目と必修科目がある。選択科目について、例えば大学編入するときの計算をどのようにされるのか教えて頂きたい。

A 成績上の順位は合格した科目の点数の平均点による。学年途中で不可があっても、最終的に修得した選択科目の点数が平均点に算出される。

校内学習塾と大学編入後について

Q 1年生の保護者です。2点質問あり1点目は校内学習塾は案内状がなくても受けられるのか。もう1点は大学へ編入すると、3年生なのですぐに就職活動が始まり大学へ行ったという感じがしないという話を聞いた。その辺の情報があれば教えて頂きたい。

A 校内学習塾は全員が受けられない。教科担当や担任が中間テストのつまづいた科目について、こういう勉強方法であれば伸びるのではないかという事で対象者を決めている。勉強の方法が分かっていて成績が良い場合は難しいかもしれないが、もし中位くらいで学習塾自体に余裕があれば受けられるかもしれないため担任の先生へ相談をしてほしい。

大学へ編入学した学生の8割ぐらいは大学院へ進学している。高専の時に就職と進学についての話を聞いて理解し、就職活動へ移っているため、卒業生から支障があるという話は聞いていない。

返信用はがきより、進学と就職について

・後援会ご案内の返送はがきより質問2件

Q 4年生の保護者様から進学か就職か迷っている学生へ良いアドバイスを伺いたい。

Q 2年生の保護者様から卒業後は大学へ編入を希望している。いつ頃からどのように情報を集めたらよいか伺いたい。

A 積極的な学生は2年生の7月中旬頃から始まる各大学のオープンキャンパスへ行き情報収集している。殆どの学生は3年生の11月に企業現場見学に参加するタイミングから情報収集を始め、大学編入するのであればどのような科目があるかを確認したり、就職であればどのような分野が良いか考え始めているようである。あまり積極的ではない学生は4年生の冬休みくらいから考え始めるようである。

長野高専 OB 特別講演



浅田吉博さん

長野高専の55期生である浅田吉博さんが、高専後援会長野支部総会において特別講演を行いました。浅田さんは、在学中から多岐にわたる活動を

展開し、その経験は多くの現役学生に影響を与えるような講演内容でした。

浅田吉博さんは、2017年に長野高専の電気電子工学科に入学しました。在学中の2年次には「トビタテ！留学 JAPAN(文部科学省)」に応募し、夏休み期間を利用してフィンランドへ1ヶ月間留学。(制度詳細は[こちら](#)をご参照ください。)

さらに、3年次にはシンガポールへ留学し、現地学生とのワークショップで飛行機内の運送システムのアイデアを提案し、優勝を果たしました。その後、長野高専専攻科と豊橋技術科学大学にも在籍し、両校を同時に卒業できる「先端融合テクノロジー連携教育プログラム」にエントリーしました。(制度詳細は[こちら](#)をご覧ください。)

昨年度は経済産業省による起業家育成・海外派遣事業に採択され、全国の学生を代表してフィンランドに派遣されました。現在は、豊橋技術科学大学の大学院で日々研究に励んでいます。

浅田吉博さん 講演内容

浅田さんは、「“研究×スタートアップ”どちらも一流テクノロジーでよりよい未来社会を創造する起業家になる！」という目標を掲げ、多様な活動に取り組んでいます。講演では、その思いに至った背景と長野高専での活動がどのようにキャリア設計に役立ったかについて話してくださいました。

高専入学当初の思い

浅田さんは、高専入学当初は国鉄エンジニアであった祖父への憧れからテクノロジーの格好良さに惹かれ、漠然とした思いで海外にも行ってみたいと考えていました。しかし、高専での様々な挑戦や学びを通じて、2年生の時には未来社会の課題解決に役立つものづくりをし、グローバルに活躍したいという明確な目標を持つようになりました。

トップインタビューとトビタテ留学 JAPAN



仲間に広げながら計10社ほどを訪問

学び

- ・授業が将来どう役に立つのか
- ・将来の働く姿のイメージ

“将来の姿”を具体的に考え始めた！

1年生の時に参加した「トップインタビュー」と2年次に参加した「トビタテ留学 JAPAN」の経験が、浅田さんの考えを大きく変えるきっかけとなりました。トップインタビューでは、起業家講習会にてキャタピラ技術

で起業した方の話を聞き、就職や進学以外にも様々なキャリアパスがあることを知りました。この経験が、浅田さんのキャリア設計において重要な転機となりました。

また、トビタテ留学 JAPAN でのフィンランド留学では、工業デザインの視点からフィンランドの高い幸福度の理由を探るテーマで学びました。この留学での経験は、浅田さんのアイデンティティ形成や自己理解に大きく寄与し、自信を持って将来に向けた目標を語ることができるようになりました。

シンガポール留学とバックカスティングの考え方

3年次のシンガポール留学では、日本人の友達と共に現地の文化や技術を学びましたが、浅田さんは一人で留学する経験も重要だと感じています。一人で留学することで、自分の力で問題解決を図る能力が養われ、成長につながると語りました。

浅田さんは、将来の目標から逆算して今やるべきことを考える「バックカスティング」の考え方を重視しています。高専で学んだことや経験が、将来の目標実現にど

う役立つかを考えることで、より目的意識を持って学生生活を送ることができると強調しました。

保護者との関係

中学生の頃、父親に自衛官になることを勧められた浅田さんは、自分の意思をうまく伝えられず辛い思いをしました。しかし、高専に入学してからは保護者との関係も変わり、自分の意思を尊重してもらえるようになりました。留学や進路についても応援してもらい、自分の選択に自信を持つことができるようになったと振り返りました。

技術科学大学での学び

「先端融合テクノロジー連携教育プログラム」にエントリーし、両校を同時に卒業することを目指しました。高専専攻科と豊橋技術科学大学での学びを通じて、浅田さんは高専生としての特性を活かしながら、研究や課外活動に取り組んでいます。技術科学大学は高専生のための国立大学として、カリキュラムが高専生に向けて設計されており、就職活動や進学においても高く評価されています。

浅田吉博さんの講演は、特別講演を聴衆された保護者や同席された両副校長先生方にとっても感心と刺激となる内容に思えました。未来に向けた目標設定やキャリア設計の重要性を再認識させるものでした。浅田さんのこれからの活躍に期待するとともに、長野高専の学生たちも彼のように多様な経験を積み、未来に向けた一歩を踏み出してほしいと願っています。

懇親会開催



総会終了後、同ホテル信濃路の別会場において懇親会が開催されました。

大勢の保護者の方にご参加いただき御来賓の先生方との交流はもちろん、同学年や別学年の保護者の方々と楽しみながらも有益な情報を交換することができました。

令和 6 年度役員



(写真左から)【庶務】小林雅樹、【副支部長】伊東誓敏、【支部長】関野愛、
【庶務補】山田恵美理、【会計】綿貫由香、【会計補】島津明美

支部長よりご挨拶

皆様もご存じの通り、長野支部は長野高専約3分の1の会員が在籍する大きな支部です。そのため、数多くの行事ができませんが、本日の総会と学年別懇談会を開催し、支部の規約にあります、会員

の親睦を図って参りたいと考えております。今年度の取り組みとして、コロナ禍前に行ってございました、北信地域支部との交流を 2 月に開催します学年別懇談会と合わせて行う計画をしております。ぜひ、そちらの方にもご出席いただければと思います。

また、工嶺祭における保護者・来客への湯茶サービスも長野支部の活動になります。お越しの際は、ぜひお寄りいただければと思います。

近年の物価高に伴い支部の会計も厳しくなっております。昨年度から年 2 回の支部だよりを長野高専ホームページへの掲載に切り替えることで広報費を削減することができました。また、評議員の方からご意見をいただき、総会などの出欠確認を往復はがきから QR コードへ切り替えを検討しております。会員皆様のご理解のほどよろしくお願いします。

編集後記

前号までは本誌のレイアウトは業者さんに依頼していましたが、本号からは編集委員の手作りとなっております。お見苦しい点いくつかあると思いますがご容赦ください。なんとなく前号に似せて作りましたが、次号からはスタイリッシュな構成にしていきたいと企んでおりますのでご期待ください(ハードル

編集委員 山岸 直樹 桂木 大世 倉島 寛 古城 ちさと 小林 一樹